

## // 病院の概要

- 病床数 404床
- 医師数（研修医を除く） 42名（うち指導医数 9名）
- 研修医数 1年目 3名 2年目 3名
- 研修医の主な出身大学 東邦大学・日本医科大学・大阪医科大学・帝京大学
- 診療科 内科 外科 整形外科 呼吸器科 循環器科 消化器科  
脳神経外科 形成外科 泌尿器科 皮膚科 眼科 耳鼻咽喉科  
婦人科 麻酔科 心臓血管外科 神経内科 糖尿病・代謝内科  
放射線科
- 1日平均外来患者数 690名 ● 1日平均入院患者数 324名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育関連施設、  
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本心血管インターベンション治療学会研修施設、  
日本外科学会修練施設、日本消化器外科学会修練施設、日本整形外科学会研修施設



## // 研修プログラムの特色

- 1、自由度の高いプログラム選択が可能です。
- 2、マンツーマン指導で「手技」を中心とした研修を行う事が出来ます。
- 3、救急医療から在宅医療・地域医療まで幅広く研修が可能です。心臓病センターでは虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）のカテーテル診断治療、不整脈治療（アブレーション）を多く学べます。救急隊との研修、保健所研修、地域診療所で病院を取り巻く地域医療を学びます。
- 4、入職後1か月はオリエンテーションで各部署を学びます。部署ごとの役割を知り、スタッフとの繋がりを作る事で「聞きやすい・話しやすい研修環境」を作ります。
- 5、当直回数は、月2回。日中の研修を中心に研修を進めていきます。



### プログラム 例

### 初期研修医プログラム（募集定員6人）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目▶	オリエンテーション		内科（内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科）				救急（救急外来・麻酔科）				選択必修※	
2年目▶	地域医療	選択科目（内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・腎臓内科・外科・整形外科・心臓血管外科・脳神経外科・麻酔科・泌尿器科・皮膚科など）										

※掲載プログラムは、1例です。

※自由度の高いプログラム構成が可能です。

※選択必修科は精神科、産婦人科、小児科、外科、麻酔科の5科目のうち2科目選択（各1か月）、自由選択科は最大11か月

## 研修医の待遇

- 給 与▶ 1年次：約42万円／月 2年次：約45万円／月
- 諸手当▶ 当直手当（1万円／回）
- 保 険▶ 社会保険、雇用保険、労災保険、医師賠償責任保険
- 勤務時間▶ 平日9時～17時、土曜日 9時～13時
- 当 直▶ あり（2回／月） 17時30分～翌9時
- 休 暇▶ 曜日、祝祭日、年末年始（12月30日午後～1月3日）、有給休暇（1年次：10日 2年次：11日）、特別休暇（慶弔休暇等病院規定による）
- 宿 舎▶ あり（費用の50%を病院が負担）
- その他▶ 学会出張費（当院規定により支給）

## 主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・板橋中央総合病院
- ・新松戸中央総合病院
- ・新越谷病院
- ・越谷市立病院
- ・順天堂越谷病院 他

## 当院のキーワード・



### 研修医 一問一答

教えて！春日部中央総合病院はどんなところ？

Q. 病院を一言で表すと？

A. アットホームな雰囲気です。

Q. 当院の研修プログラムの特徴を教えてください。

A. 自由選択期間が11か月間ある為、自分に合ったプログラムが組めます。実践的な「手技」に積極的に挑戦できるのも特徴ですね。

Q. 入職直後に、1か月間のオリエンテーションがありますが、どのようなことをされたのですか。

A. 看護部・薬剤部・検査科・放射線科を1週間ずつ回りました。

さまざまな部署で実習を行うことで、各科の職員と顔見知りになり、ディスカッションがしやすくなりました。

Q. 当直はどのくらいの頻度ですか？（週に○回、月に○回など）

A. 月2回以上で、内科系と外科系のどちらかになります。その時の研修科目によって当直に入る回数を変えています。

Q. 病院外での他部署との関わりはありますか？

A. 院内のクラブ活動が充実しています。バレーボールやバドミントンなどに参加し、多職種と交流を深めながら息抜きをしています。



### 研修責任者から



臨床研修管理責任者  
柳澤 良三

当院での初期研修の2年間は基本的知識、技術、態度を身につけるための重要な時期です。将来どの診療科に進もうとプライマリ・ケアができることが必須であり、そのために様々な疾病を経験する必要があります。

春日部中央総合病院群職臨床研修プログラムでは、近隣施設、IMS（イムス）グループと連携して、研修医の指導を行っている為、Common DiseaseからRare Caseまで経験可能です。春日部中央総合病院で、医師としての重要な第一歩を踏み出して頂ければと思います。

### 先輩研修医から



研修医1年目  
谷口 賢哉

春日部中央総合病院に興味を持ったのは、行き届いた指導をしていただけたうだ感じたからです。大学を卒業し研修医となると、医学生の時とは違い、医師として自分で考え、行動することが求められます。しかし、最初からできるはずもありません。上級医や先輩研修医からのアドバイスや自ら学んだことを蓄積し、医師としての知識・手技・心構えなどを成長させることが、初期研修であると考えています。面倒見の良い指導医や上級医が多くいますし、IMSグループ内の他の研修医とも切磋琢磨して成長していく環境があります。

当院のプログラムは、個人個人に合わせたプログラムを組むことが可能であり、様々な症例を学ぶことができます。あなたも当院で研修医のスタートを切って、自分自身の理想とする医師像に向かってみませんか？

### 女性医師支援コーナー

春日部中央総合病院では、女性が働きやすい環境を第一に考え、産休、育児休暇、育児短時間勤務、当直免除等の制度を整備しています。また、院内保育所も完備するなど、女性職員が育児しながら働く場の提供を積極的に行ってています。

「埼玉県子育て応援企業」として、埼玉県より『多様な働き方実践企業』の認定を受けています。

連絡先

### 春日部中央総合病院

臨床研修事務担当 山下 充男

〒344-0063 春日部市緑町5-9-4

TEL 048-736-1222(直通) FAX 048-738-1559  
E-mail jinji@kasukabechuo.com  
URL http://www.kasukabechuo.com/  
アクセス 東武スカイツリーライン「一ノ割駅」から徒歩5分

### // 病院見学、その他イベント・説明会等の情報

●病院見学は随時受け付けております。

臨床研修事務担当まで電話、メールもしくはホームページよりお問い合わせください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。